

国道42号 橋梁の流失対策(和歌山県有田郡湯浅町)

- 国道42号山田橋では、近年の豪雨により護床ブロックの散乱・流出や、橋脚基礎の洗堀が見られたため、5か年加速化対策に基づき、洗堀・流失対策を実施し、令和5年3月に工事が完了。
- 令和5年6月豪雨では、平成29年8月、平成30年9月の台風による豪雨を超える**連続雨量385mm**を観測したが、河床洗堀による**橋梁流失被害を未然に防止**。

■ 実施主体:国土交通省 近畿地方整備局

和歌山河川国道事務所

やまだばし

■ 橋梁名:山田橋

■ 実施場所:和歌山県有田郡湯浅町湯浅～栖原

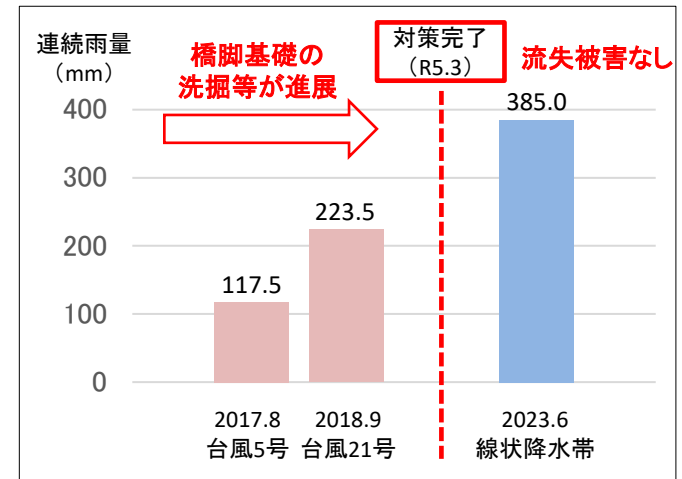
■ 事業概要:橋梁や河川に隣接する構造物の流失対策

■ 事業費:事業費0.4億円(令和2年度～令和4年度) (うち5か年加速化対策による事業費0.4億円)

【位置図】



【連続雨量の比較】



【被災状況】



橋脚基礎の洗堀

護床ブロック散乱・流出



【対策内容】



護床ブロック設置

令和5年3月対策完了